

美術科学習指導案

科目	授業学級	授業場所	使用教科書
美術史	2年8組（美術科）38名 （男子8名，女子30名）	芸術棟 油画室	時代別 日本・西洋 美術鑑賞(副教材)

1 題材名

「パリで出会うモネ」

2 題材の目標

西洋美術史において，どのような経緯から印象派が生まれたのか，画家「モネ」を中心に学習することで理解する。また海外研修旅行で訪れる予定のパリで，実際に観ることができるモネや印象派の作品を鑑賞することを通してその特徴を理解し，画家たちがどのように新しい表現を目指したのかについて考えさせ，新たな美術文化を創造していく基礎となる能力を高める。

3 題材の評価規準（本題材は鑑賞領域であるのでア・エのみ）

ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
モネの作品を主体的に鑑賞し，その特徴を自分なりに発見する。その上で印象派の展開について積極的に学習している。	—	—	モネの作品からその心情や意図を理解している。また，そのことを通して印象派の画家たちが目指した表現の魅力を感じ取り味わっている。

4 題材の指導計画（全2時間）

- 1 「パリで出会うモネ」（モネと印象派）…1時間（本時）
- 2 「パリで出会うモネ」（印象派の展開）…1時間

5 題材観

西洋美術史において，大きな転換点となった印象派の表現を，それらの作品を鑑賞しながらモネという一人の芸術家を通してより具体的に理解させ，新たな美術文化を創造していく基礎となる創造的な能力や意欲を高めようとする題材である。

6 生徒観（生徒の実際）

*事前のアンケート調査による生徒の実態（数字は人数：10月1日 調査対象36人）

●好きな美術のジャンル（複数回答可）

- ・絵画(油絵) 27 (75%) ・絵画(日本画) 21 (58%) ・彫刻 10 (28%)
- ・木工芸 10 (28%) ・陶芸 10 (28%) ・デザイン 21 (58%)
- ・イラストレーション 30 (83%) ・漫画 23 (64%) ・現代美術 4 (11%)
- ・その他 (・水彩画1 ・CG 1 ・写真2 ・アニメ2)

●好きなアーティスト

- ・フェルメール 6 ・コロー 2 ・ルノワール 2 ・モネ ・レンブラント
- ・テイツイアーノ ・ベルメール ・クールベ ・フラゴナール ・クリムト
- ・スーラ ・ダ・ビンチ ・ミケランジェロ ・ミュシャ ・ゴヤ ・セザンヌ
- ・モジリアニ ・安彦良和 ・諏訪敦 ・宇野亜喜良 ・井上直久 ・hoga ・paka

●モネの認知度

知っている 34 (94%) 知らない 2 (6%)

○認知している内容

- ・睡蓮を描いた 17 ・日の出を描いた 7 ・印象派の祖 7 ・日傘の女 2
- ・亡くなった妻の肖像を描いた ・明るい絵 ・光の画家 2 ・日本趣味の庭
- ・時間を変えての連作 ・草上の昼食(×)

●印象派の認知度

知っている 29 (81%) 知らない 7 (9%)

○認知している内容

- ・光と影を描いた 7 ・印象をそのまま絵にした人たち 5 ・好かれなかった
- ・屋外で制作した ・短い時間で描いた ・黒は使わない ・淡い感じ ・抽象的に描く(△)

○認知している印象派の画家の名前

- ・モネ 12 ・ルノワール 11 ・マネ 2 ・ドガ 2 ・モリゾ ・ゴッホ 4(△)
- ・セザンヌ 3(△) ・ゴーギャン(△) ・ミレー(×) ・クールベ(×)
- ・フェルメール(×) ・ゴヤ(×) ・クレー(×)

事前に行なったアンケートによると、およそ 75%の生徒が美術史の授業は「楽しい」とか「面白い」という感想を述べている。美術そのものに対する興味関心はもちろんあるが、12月に行なわれる海外研修旅行で目の当たりにできることを想像しながら受ける授業は他の授業とは違う心地があるのではないかと想像できる。また、生徒が海外研修旅行で最も楽しみにしていることについては、美術館の訪問や実際に美術作品と出会うことを上げた回答が最も多かった。

美術科 2 年生は全体に穏やかで優しい雰囲気のある学級である。生活態度は安定しており、学習意欲も十分である。専門の実技においても順調に力を伸ばしてきている。一方で、やや大人しく積極性に欠ける面もある。高校 3 年間の後半を、より高い目標を掲げて努力する時間にするためにも「西洋美術史」の学習を通して美術についての視野をひろげ、海外研修旅行については事前学習を十分に行い、たくさんの収穫を確かに実感することができる機会にしたいと考えている。

7 指導観

美術史の授業では、教科書や鑑賞教材に加え、研修旅行の事前学習として生徒たち自身が作成したアーティストレポート(芸術家についてのレポート)とトラベルレポート(訪問地や旅の実際についてのレポート)を活用している。各レポートの内容を発表し、それを聞くことにより、その場に立って実際に作品を鑑賞することを模擬的に体験し想像させる。今回の題材においても鑑賞活動を行なう中に生徒たちの目線や感覚を織り込むことで、芸術家や作品の存在をより身近に感じさせながら、具体的に臨場感のある授業を行なえるよう心がけて指導したい。

8 本時の実際

(1) 本時の目標

- ・「印象 日の出」鑑賞することにより、印象派が生まれた経緯や背景を理解する。
- ・オルセー美術館で観ることができるモネの作品と他の作品を比較・鑑賞し、表現の相違点を発見させる。その上でルーアン大聖堂」を鑑賞し、印象派の特徴を理解させる。
- ・オランジュリー美術館の作品(「睡蓮」)を鑑賞することにより、モネの人生を想起し、新しい表現に挑んだ芸術家の生き方について考えさせ、西洋美術史の伝統と文化についてより積極的に学習しようとする態度を育てる。

(2) 本時の評価基準 (本時は鑑賞領域であるのでア・エのみ)

ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・ モネの作品について主体的に鑑賞し、その特徴を感じ取ろうとしている。 ・ モネの作品を通して印象派の画家たちが目指した表現を積極的に発見しようとしている。 ・ 研修旅行で実際に観る場面を具体的に想像しながら鑑賞している。 	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ モネの作品を通して印象派の生まれた経緯を理解している。 ・ 自然主義と印象派の表現の違いに気がつき、モネの作品を通して印象派の表現の特徴を理解している。 ・ モネの生き方や生涯について理解し、新しい表現を目指した画家の心情を想像している。

(3) 本時の展開

指導過程	時間	学習活動	指導上の留意点	準備
導入	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習内容を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パリにある三つの美術館のモネの作品について学習することを学ぶ。 ● マルモッタン美術館のモネの作品と出会う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ マルモッタン美術館について発表する。 ・ マルモッタン美術館についての発表を聞き、その特徴を知る。 ・ 「印象 日の出」を鑑賞する。 ・ 作品を鑑賞した感想を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修旅行訪れる実際に訪れる三つの美術館で実物を鑑賞できることを意識させる。 ○ 生徒が実際の鑑賞場面を想像できるよう工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の背景(制作場所など)やタイトルの由来について考えさせた上で紹介する。 ・ 「印象派」誕生の経緯を知らせる。 	図版 「印象 日の出」 PC プロジェクタ スクリーン ワークシート 生徒作のレポート

<p>展開</p>	<p>25</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オルセー美術館のモネの作品と出会う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オルセー美術館について発表する。 ・ オルセー美術館にあるモネの作品を鑑賞する。 ・ オルセー美術館にある「自然主義」の作品とモネの作品を比較して「印象派」の特徴について考える。 ● 「ルーアン大聖堂」の連作を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜモネが同じ位置から複数の作品を制作したのかについて考える。 ・ それぞれの作品がどのような光の状態の中で描かれたのかについて考え、発表する。 ● モネの生涯について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ モネの生涯について発表する。 ・ モネがどのようにその人物であったのかを知る。 ・ モネの生涯や人間性について考える。 	<p>○19世紀後半の絵画表現の変化について紹介し、印象派の特徴について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オルセー美術館全体の特徴について説明する。 ・ 「印象派」について特徴的なモネの作品を鑑賞させる。 ・ ミレーやコロアの作品と比較しながら相違点を見いだせるよう指導する。 (全体の印象, 着眼点別) <p>○モネが求めた光の効果について連作を鑑賞することで感じ取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 光へのこだわりについて主体的に気づかせる。 <p>○晩年のモネの生き方に注目させる。</p>	<p>図版 「ルーアン大聖堂」 PC プロジェクタ スクリーン ワークシート 生徒作のレポート</p> <p>図版 「自画像」</p>
<p>終末</p>	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オランジュリー美術館のモネの作品と出会う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オランジュリー美術館について発表する。 ・ 「睡蓮」を鑑賞する。 ・ 「睡蓮」を鑑賞した感想を話し合う。 ● モネについて学習した感想をまとめる。 ● 本時のまとめをする。 ● 次時の学習内容を知る。 	<p>○「睡蓮」から「印象派」のその後の絵画表現への影響を予想させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「睡蓮」が描かれた背景を説明する。 ・ ロープを使用してその大きさを実感させる。 ・ マルモッタン美術館長の文章を紹介する。 <p>○本時の感想をまとめる。(感想文の一部は宅習課題とする。)</p> <p>○次時は印象派の他の芸術家について学習することを知らせる。</p>	<p>図版 「睡蓮」 PC プロジェクタ スクリーン ロープ ワークシート 生徒作のレポート</p>